

山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム	No.18 木工クラフト体験
---------	----------------

学校名	四万十市立西土佐小学校
学年・生徒数	1年 7名
実施場所	社団法人西土佐環境・文化センター四万十楽舎、近くの河川（四万十川）
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な森や木の働き、山から海までの水のつながりを知り、森や木や自然を大事にしようとする態度を育てる。 ・森林や川の働き、木材の活用、流木アートについて学ぶ。
実施教科	生活科
関連教科	
準備物	講師…ボンド、ヒモ、ハサミ、飾り付け用のビーズやシールなど

実施項目	流木クラフト
対象プログラム	No.18 木工クラフト体験
所要時間	材料集め 約 30分 、作品づくり 約 50分
実施内容	<p>・<u>挨拶、流木クラフトづくりの説明、材料集め</u></p> <p>講師（四万十楽舎）が挨拶した後、流木クラフトづくりの説明を行い、材料を集めるため近くの河原（四万十川）に移動した。（徒歩約3分）</p> <p>児童らは流木、色や形の違う石やシーグラスなどを拾い集めた。1年生は、春と秋に学校周辺の山（赤ヌ田山）へ探検に行き、草花や木々、木の実の変化などについて体験学習を行っている。教員から「赤ヌ田山で見た木々が四万十川に流れ着き、流木となって自分たちの作品に活用できるね。」等の説明もあり、山と川のつながりを想像しながら流木等を集めた。</p> <p>・流木と石などを使った作品づくり</p> <p>小さな流木は、フックや紐をつけてストラップを作った。児童らが集めた流木や石などの他、講師が用意したビーズなども使用して工作をした。児童らは夢中になり、自由な発想で色々な作品ができた。</p> <p>接着はボンドや紐などを使用した。基本的に刃物などを使わない作業のため1年生でも安心して楽しめる。</p>

実施風景





補足
その他、プログラムの
特徴

・西土佐小学校では、この1年生の学習のほか、2年生は木工教室（松ぼっくりや木の実などを材料にリースづくりなど）、4・5年生は八面山登山、炭焼き体験、水生生物調査などの森林環境学習も実施している。